

29 年度指導方法の課題分析と具体的な改善策及び補充指導などの計画 教科 国語

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展指導計画
1 年	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校段階での言語事項（漢字・語彙・文法等）が定着していない生徒が見られる。 ・文章を読解することはできるが、それを元に自己の考えを整理して、書いたり、話したりすることが苦手な生徒が見られる。 ・書くことに対して抵抗のある生徒が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字・語彙に関しては、こまめに指導を行い、チェックしていく。 ・どのように考えをまとめるかの筋道をその都度示す。また、グループ学習等を行い、他の人の考えを聞くと共にまとめ方発表の仕方を学べるようにする。 ・「何を」「どのように」書くのかという視点をはっきりさせて指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜、状況を把握し、適切な助言を行う。 ・課題をチェックすることで状況を常に把握し、必要に応じて、補充的学習を行う。また、必要に応じて、教科書の発展的課題に取り組む。 ・長期休業中に言語事項に関して、補充的学習の機会を設ける。
2 年	<ul style="list-style-type: none"> ・言語事項（漢字・語彙・文法）の学習において、家庭学習習慣が身についておらず、知識が定着していない生徒が見られる。 ・話すこと・聞くことの学習に於いて、特に聞く（メモを取りながら聞いたり、質問をしたりする）技能について個人差が見られる。 ・文章の構成や展開を意識した作文を書くことに個人差が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の仕方について適宜指導、助言を行い、宿題の点検をこまめに行う。 ・聞くときの姿勢や状態作りから始まり、授業ノートにもメモランを設けることで日常的に積極的な聞き手としての技能を身に付けさせる。 ・構成の例を示し、目的や書き方をはっきりと指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜、状況を把握し、適切な助言を行う。 ・小テストや復習課題をチェックすることで状況を常に把握し、必要に応じて、補充的学習を行う。また、必要に応じて、教科書の発展的課題に取り組む。 ・長期休業中に言語事項に関して、補充的学習の機会を設ける。
3 年	<ul style="list-style-type: none"> ・言語事項（漢字・語彙・文法）の学習において、家庭学習習慣が身についておらず、知識が定着していない生徒が見られる。 ・書くことに対してやや苦手意識を持った生徒がいる。 ・文章を読解することはできるが、それを元に自己の考えを整理して、書いたり、話したりすることが苦手な生徒が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字・語彙に関しては、こまめに指導を行い、チェックしていく。 ・字数にこだわらず、自分の意見や感想を書く機会を適宜設ける。柱を立てて文章展開をする、意見文を書くことに挑戦させる。 ・どのように考えをまとめるかの筋道をその都度示す。また、グループ学習等を行い、他の人の考えを聞くと共にまとめ方発表の仕方を学べるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜、状況を把握し、適切な助言を行う。 ・小テストや課題をチェックすることで状況を常に把握し、必要に応じて、補充的学習を行う。また、必要に応じて、教科書の発展的課題に取り組む。 ・長期休業中に言語事項に関して、補充的学習の機会を設ける。

